

上振れ続き契約変更議案

淀川左岸線2期 井上浩議員が反対

建設港湾委

阪方面を結ぶシャトルバスなどのアクセスルートとして暫定利用する計画。来年度予算案でトンネル本体などの工事に288億円を計上しています。

一部の工区で、想定以上に汚染土や地中障害物が確認されたことから、市は、その除去・撤去費用の契約金額を、当初の約8億8千万円から約10億5600万円に変更する議案も提案。竣工時期をことし8月30日から来年3月31日に変更するとしています。

井上浩議員は2月20日に開かれた建設港湾委員会、事業費の大幅な上振れ問題になっている高速道路を つくる開発です。

淀川左岸堤防と一体に、コンクリート構造物を並べてトンネル式の高速道路をつくる開発です。総事業費が上振れし、当初の2.5倍、約2900億円に上振れしました。

井上浩議員は2月20日に開かれた建設港湾委員会、事業費の大幅な上振れ問題になっている高速道路淀川左岸線2期事業などについて質問しました。

同事業（大阪市此花区・海老江ジャンクション）北区・豊崎インターチェンジ、約4.4キロ）の当初の総事業費は、約1162億円（負担割合は国55%、大阪市45



質問する井上議員＝2月20日、大阪市議会建設港湾委員会

同事業の完成予定は32年度ですが、維新市政は25年大阪・関西万博の成功へ、会場の夢洲と新大井上氏は、災害時にはトンネル内部へ浸水した場合の対応や、地下水脈への影響も明確ではないと指摘。「災害対策に逆行し、自然環境と財政への負荷が大きい」と強調し、契約変更の議案に反対しました。